MITSUBISHI

冷房・暖房兼用天井カセット形(インバーター)

三菱ハウジングエアコン

MLZ-W40RAS・W56RAS
MLZ-W50RAS

取扱説明書

このたびは三菱ハウジングエアコンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
●保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
●お客さまご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)
この製品は国内用ですので日本国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

お使いになる前に

運転のしかた

上手な使いかた

マルチエアコンについて

お手入れ・困ったときに

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくと
お客さまに役立つ各種サービスをウェブサイトにてご利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらのホームページをご覧ください。 **http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage**

安全のために必ず守ること(必ずお読みください)

■取扱いを誤ったときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は下のとおりです。

禁　止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止
指示を守る	アース線接続	

警告

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

お客さま自身で据付け・修理・移設・電源コード交換はしない販売店または専門業者に依頼する

不備があると、火災・感電・室内機の落下によるケガ・水漏れの原因になります。

据付け・修理・移設禁止

コード類は、束ねたり、引っ張ったり、重い物を載せたり、ネジなどで傷つけたり、加熱したり、加工したりしない

感電や発熱・火災の原因になります。

傷つけ禁止

異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止してブレーカーを切る

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

お買上げの販売店または三菱電機修理相談窓口に相談してください。

ブレーカーを切る

吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。

禁止

吸込グリルの落下防止用ヒモは必ず取付ける

落下によるケガの原因になります。

落下防止用ヒモ取付け

お客さま自身で分解・改造・修理・移動再設置をしない

火災・感電・ケガ・水漏れの原因になります。

禁止

移動再設置・修理する場合は、お買上げの販売店または三菱電機修理相談窓口に相談する

不備があると、感電や火災などの原因になります。

販売店に相談

エアコンが冷えない・暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買上げの販売店に相談する 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

サービスマンに確認する

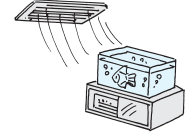
室内機内部の洗浄はお客さま自身では行わず、必ずお買上げの販売店または三菱電機修理相談窓口に相談する

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になります。

販売店に相談

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない

品質低下または動植物への害の原因になることがあります。

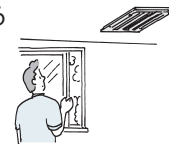
使用禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

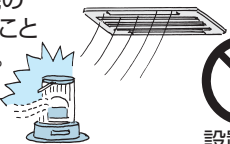
ぬれ手禁止

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

換気

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になることがあります。

設置禁止

長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない

ユニットの落下につながりケガなどの原因になることがあります。

禁止

エアコンを水洗いしない

感電や発火の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

動植物に直接風をあてない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

禁止

⚠注意

掃除のときは運転を停止し、ブレーカーを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

マルチエアコンの場合、冷房・ドライ運転直後に、他の室内機を暖房しない

室内機に露がつきます。

室内外機の下に他の電気製品や家財などを置かない

水が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。

室外機の吸込口やアルミフィンにさわらない

ケガの原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない

火災・変形の原因になることがあります。

室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によりケガの原因になることがあります。

乾電池の交換は2本とも新しい同種のものにする

古い乾電池を混ぜて使用すると発熱・液漏れ・破裂の原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、ブレーカーを切る

被雷すると、故障の原因になることがあります。

窓や戸の開けっぱなしなど、高湿（80%以上）で長時間運転はしない

室内機に露がつき、滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。

乾電池を充電・分解したり火の中に投入しない

液漏れ・破裂・発火の原因になることがあります。

吸込グリル脱着のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒し、ケガの原因になります。

エアコンを数シーズン使用した場合は、通常のお手入れとは別に点検整備を行う

室内機の内部にゴミやほこりがたまって、においが発生したり、除湿水の排水経路を詰まらせ、室内機からの水漏れの原因になることあります。
点検整備には専門の知識と技術が必要です。
お買上げの販売店に依頼してください。

据付時のご注意

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する

据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

⚠警告

電源は必ずエアコン専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する

専用以外のコンセントを使用すると、発熱・火災の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない

万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、爆発の原因になります。

アース（接地）を確実に行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。

漏電しゃ断器を取付ける

漏電しゃ断器が取付けられていないと、火災・感電の原因になります。

HFC冷媒（R410A）以外の冷媒は使用しない

故障や破裂などの重大事故の原因になります。

⚠注意

ドレン水を確実に排水できるようにする

排水経路に不備があると、室内外機から水が滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。

異常や不具合が発生したとき

ただちに運転停止し「お買上げの販売店」にご相談ください。（23ページ）

各部のなまえ

室内機
吸込口（3か所）
吸込グリル
操作部・表示部
カテキンエアフィルター（3か所）
上下風向フラップ1
吹出口1にある上下風向フラップ
左右風向フラップ1
吹出口1にある左右風向フラップ
吹出口1
ゾーンランプ1がある側の吹出口
吹出口2
ゾーンランプ2がある側の吹出口
左右風向フラップ2
吹出口2にある左右風向フラップ
上下風向フラップ2
吹出口2にある上下風向フラップ
リモコン
操作部・表示部
ゾーンランプ1
運転モニターランプ
ゾーンランプ2
受信部
MITSUBISHI
製品形名
製造年
応急運転スイッチ
据付時の試運転またはリモコンが使えないとき（14ページ）
【設計上の標準使用期間】10年です。設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
吸込グリルを開ける。（17ページ）
落下防止用ヒモ
（18ページ）
室外機
吸込口（裏面・側面）
配管
ドレンホース
吹出口
アース端子
排水口（下面）
警告
ケガのおそれあり
指などを入れないこと
注意
ケガのおそれあり
上に乗らないこと

リモコン

送信部
室内機に信号を送る。

フック引掛け穴
壁や柱に取付ける場合、フックに引掛ける穴として使用してください。

運転表示部
（説明のために表示すべてを点灯させています）

入／切ボタン
押すと運転。
もう一度押すと停止。
（8ページ）

温度ボタン
温度の調節をするとき。
（8ページ）

運転切換ボタン
冷房・除湿・暖房を選ぶとき。
（8ページ）

除湿調節ボタン
除湿運転時に除湿量を微調節したいとき。
（9ページ）

風上下1ボタン
上下風向フラップ1の風向きを変えたいとき。
（10ページ）

風左右1ボタン
左右風向フラップ1の風向きを変えたいとき。
（10ページ）

ゾーンボタン
お好みのゾーンを主に空調したいとき。
（12ページ）

風速ボタン
風速を調節するとき。
（10ページ）

風上下2ボタン
上下風向フラップ2の風向きを変えたいとき。
（10ページ）

風左右2ボタン
左右風向フラップ2の風向きを変えたいとき。
（10ページ）

タイマー切換ボタン
切タイマー・入タイマーに切換えたいとき。
（13ページ）

時間すすむボタン
タイマーの時間を合わせるとき。
（13ページ）

時間もどるボタン
タイマーの時間を合わせるとき。
（13ページ）

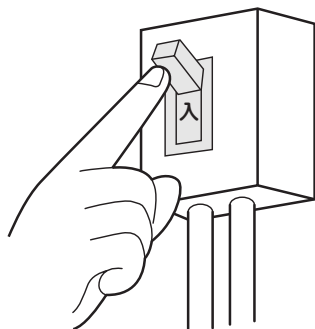
冷房省エネボタン
より省エネ運転をしたいとき。
（13ページ）

リセットボタン
乾電池の交換時に必ず押す。（6ページ）

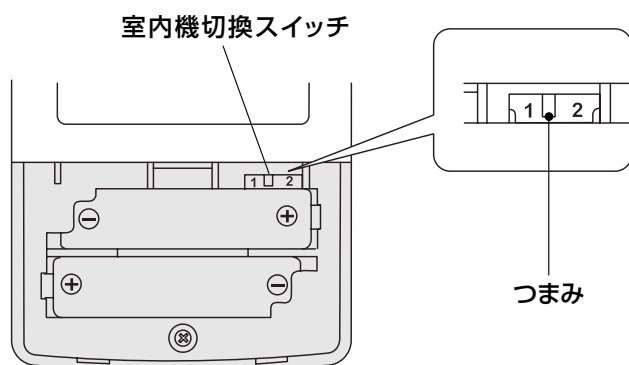
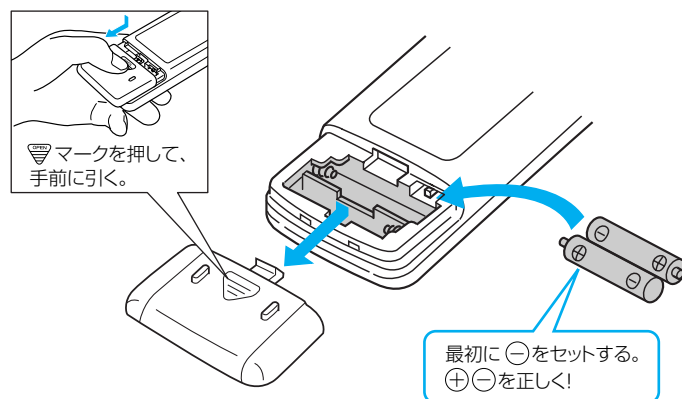
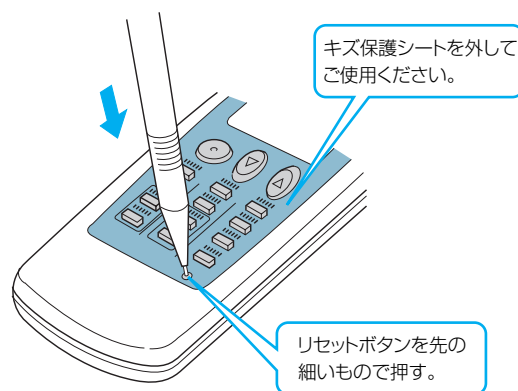
運転前の準備

ハウジングエアコンの据付けは販売店におまかせください。

室内機

ブレーカーを入にする。

室内機切換

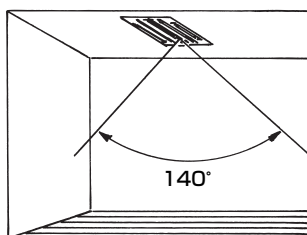
同じ部屋または近接する部屋に、2台室内機を設置する場合に、1つのリモコンで1台のエアコンのみを操作できるように設定することができます。
室内機とリモコンのそれぞれに切換スイッチがありますので、設定する場合は販売店にご相談ください。

工場出荷時は室内機1側にしてあります。

①裏ブタを引き抜き、乾電池を入れて裏ブタを取付ける。

②リセットボタンを押す。

お知らせ

■リセットボタンを押さないと、正しく作動しないことがあります。
■リセットボタンを強く押し過ぎないように注意してください。

リモコン

リモコンの取扱い

■信号の届く範囲は室内機の正面に向けて直線距離で約6m以内です。

■ボタンを押すと室内機から"ピッ"または"ピピッ"という受信音がします。
音がしないときは操作をやり直してください。
■停止するときは"ピー"と音が鳴ります。
■ボタンを連続的に押すと、押し終わったあとにリモコン信号を送信し、受信音が鳴ります。
■リモコンを大切に扱ってください。
落としたり、投げたり、水などがかかったりすると故障の原因になります。
■表示部には液晶（材質:ガラス）を使用しており、落下による破損で表示が点灯しなくなる場合がありますので十分注意してください。
■リモコン信号を受信しない時は20ページの「リモコン信号を受信しない」の内容をお確かめください。

壁などに取付ける場合

■リモコンにはフック引掛け穴があります。フックに引掛けて使用してください。リモコンホルダーは別売です。
お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

品　名	リモコンホルダー（別売）
形　名	MAC-180RH
希望小売価格	630円（税抜価格600円）

取付けかたの詳細はリモコンホルダー取扱説明書をごらんください。

乾電池について

乾電池の交換目安

信号が届きにくくなったり、表示がうすくなったり、ボタン操作時に冷房運転になったときは、2本とも新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。
■乾電池の寿命は約1年間です。
マンガン乾電池を使用すると誤動作することがありますので使用しないでください。付属の乾電池は最初にお使いいただくために用意しているもので、1年に満たないうちに消耗することがあります。

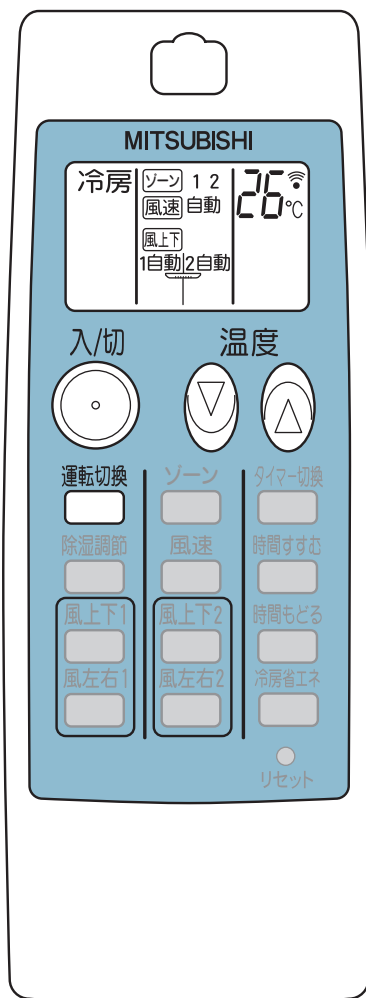
⚠注意　乾電池取扱い

■乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときはきれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。
■乳幼児の手の届く所におかないでください。
（誤って飲み込むおそれがあります）

お願い

■液漏れによる故障をさけるために長期間ご使用にならないときは乾電池を全部取出してください。
■充電式乾電池は使用しないでください。

通常の運転（冷房・除湿・暖房）

運転内容を選び、冷房・暖房は温度の調節ができます。

冷暖房・除湿運転のしかた

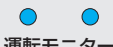
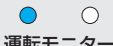
1 開始 入/切 を押す。

2 設定 運転切換 を押して、運転の内容を選ぶ。

1回押すごとに冷房→除湿→暖房の順に運転内容が変わります。

おこのみに合わせて風速・風向を調節してください。（10ページ）

3 調節 温度を変えたいとき（冷房・暖房時のみ）

■温度を上げたいときは △ を押す。
　1回押すごとに1℃ずつ上がります。
■温度を下げたいときは ▽ を押す。
　1回押すごとに1℃ずつ下がります。

リモコンの設定温度範囲は16℃〜31℃です。

省エネ推奨温度	冷房　28℃以上
	暖房　20℃以下

4 停止 入/切 を押す。

1度セットすると、次からは 入/切 を押すだけで、同じ内容の運転ができます。

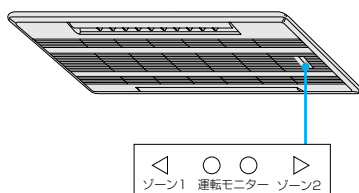
室内機の表示内容

運転モニターランプ

表　示	状　　態
● ● 運転モニター	目標温度に向かってエアコンが運転中であることを示します。目標温度と室温の差が約2℃以上です。
● ○ 運転モニター	お部屋の温度が目標に近づいたことを示します。目標温度と室温の差が約1〜2℃以下です。

● 点灯　○ 消灯

ゾーンランプ

表　示	状　　態
◀ ▶ ゾーン1 ゾーン2	ゾーン1側、ゾーン2側を同じように空調しています。
◀ ▷ ゾーン1 ゾーン2	主にゾーン1側を空調しています。
◁ ▶ ゾーン1 ゾーン2	主にゾーン2側を空調しています。

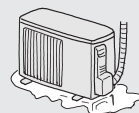
◁ 消灯　▶ 点灯

冷え、暖まりが悪い

冷房・暖房で風速を ◢（静）で運転している場合、冷えや暖まりが悪い場合があります。このような場合は風速を ◢◢（弱）または ◢◢◢（強）に変更してください。

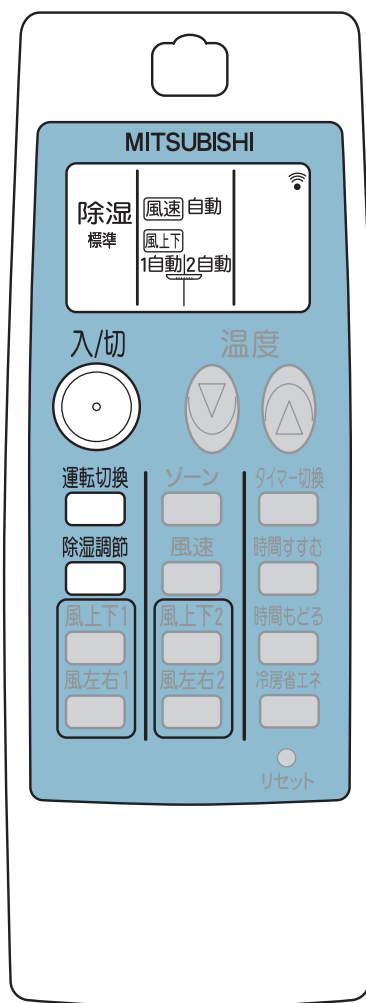
風速「◢（静）」　風速を変更　風速「◢◢（弱）」「◢◢◢（強）」

暖房運転が定期的に止まる

■気温が低いときに暖房運転をすると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなときは、自動で定期的に暖房運転が止まり、霜取り運転を行います。このとき、室内機のフラップが水平になり風が出なくなります。また、霜取りにより融け出した水が室外機の下に流れ出したり、湯気が白煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

除湿運転

お部屋の温度が下がるのを抑えながら、湿気を取除く運転をします。

除湿運転のしかた

1 開始 入/切 を押す。

2 設定 運転切換 を押して、除湿を選ぶ。

1回押すごとに冷房→除湿→暖房の順に運転内容が変わります。

おこのみに合わせて風速・風向を調節してください。（10ページ）

3 調節 除湿調節 を押す。

除湿をしているときにお使いください。

1回押すごとに標準→強→弱の順に変わります。

除湿モード	運　転　内　容	温度変化の目安
除湿 標準	お部屋の温度が下がるのを抑えながら、湿気を取除く運転をします。	初期の室温より2℃低い温度になります。
除湿 強	除湿能力を強めた運転をします。室温はやや下がります。	初期の室温より3℃低い温度になります。
除湿 弱	除湿能力を弱めた運転をします。	初期の室温より1℃低い温度になります。

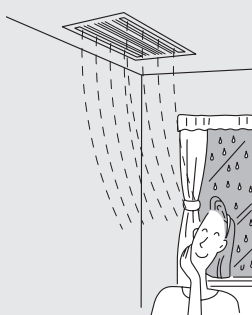
除湿運転のとき

■温度調節（温度設定）はできません。
■室温をやや下げる運転をしています。
■リモコンの設定温度は消えます。

4 停止 入/切 を押す。

知っとく情報

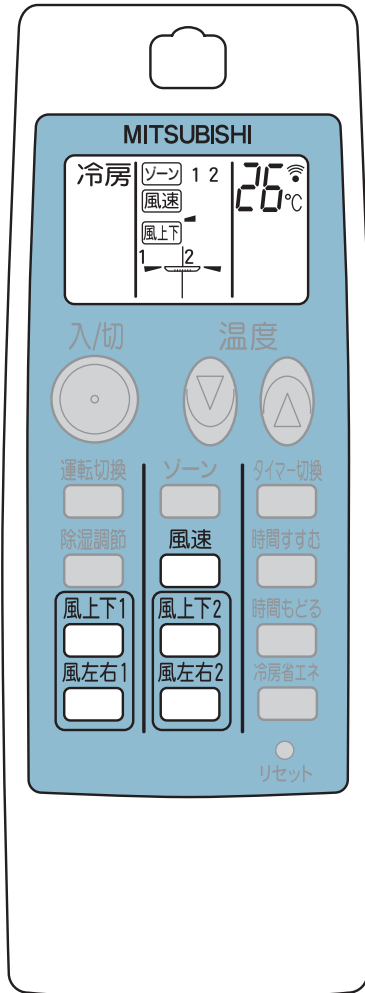
3モード除湿の使いかた

肌寒さを感じるときは除湿弱に、むし暑く感じるときは除湿強でお使いになることをおすすめします。

お知らせ

■除湿運転を開始すると室温を正しく検知するため送風運転を約3分間行います。

■除湿運転中は、除湿運転に切換える直前の室温に対して1℃から3℃下がる場合があります。

風速、上下・左右風向の調節

風速と風向を「自動」に切換えたとき、“ピピッ”と音がします。それ以外は“ピッ”という音がします。

風速を変えたい

風速 を押す。

1回押すごとに 自動 → (静) → (弱) → (強) の順に変わります。

上下風向フラップ1の風向を変えたい

風上下1 を押す。

1回押すごとに 自動 → (1) → (2) → (3) → (4) → (5) → (スイング) の順に変わります。

上下風向フラップ2の風向を変えたい

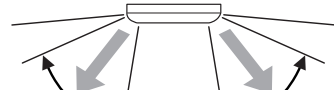
風上下2 を押す。

1回押すごとに 自動 → (1) → (2) → (3) → (4) → (5) → (スイング) の順に変わります。

左右風向フラップ1の風向を変えたい

1 開始 風左右1 を押す。
左右風向フラップ1が動きます。

2 設定 ご希望の風向きになったら、もう一度 風左右1 を押す。
左右風向フラップ1が停止します。

左右風向フラップ2の風向を変えたい

1 開始 風左右2 を押す。
左右風向フラップ2が動きます。

2 設定 ご希望の風向きになったら、もう一度 風左右2 を押す。
左右風向フラップ2が停止します。

お知らせ

上下・左右風向調節はリモコンで操作

●風向フラップを手で動かすと故障の原因になります。

■ 風左右1・風左右2 を1回だけ押した場合、左右風向フラップ1、2は動き始めますが、約30秒経過すると自動的にもとの位置に止まります。

■左右風向の動作はリモコンの表示部に表示されません。室内機の左右風向フラップ1,2を見て動作を確認してください。

■上下風向フラップ1,2、左右風向フラップ1,2を手で動かさないでください。故障の原因になります。

■暖房運転開始時、吹出し空気温度が低いとき、または霜取運転時は自動的に水平吹出しになります。

■以下の場合、リモコンで風向が変えられません。
(室内機からは"ピッ"という受信音はしますが、上下風向フラップは水平吹出しのまま動かないかもしくは全開になったあと水平吹出しに戻ります)
①暖房運転開始時で自動的に水平吹出しになっているとき
②暖房運転時で吹き出し空気温度が低くて自動的に水平吹出しになっているとき
③霜取運転時で自動的に水平吹出しになっているとき

どんなときに使うの?		冷房　除湿	暖　房
自動	ふだんは「自動」を選んでください。 ■お部屋の環境を一定に保つように、風速を自動的にコントロールします。	設定温度と現在温度の差が大きいと風を強め、差が少なくなると徐々に風を弱める運転を自動的に行います。	
(静)	静かな運転をしたいときに押してください。	■室内や外気の条件によっては、設定温度にならないことがあります。	
(弱) (強)	冷え、暖まりが悪いときに選んでください。	■周囲の条件によっては運転音が大きく聞こえることがあります。	
自動	ふだんは「自動」を選んでください。 ■おすすめの風向に設定します。 ■スイングではありません。	水平吹き になります。 水平吹き	下吹き (4) になります。
(1) (2) (3) (4) (5)	お好みに合わせて選んでください。 動作範囲　動作範囲 ■リモコンの表示範囲と、実際の上下風向フラップの動作範囲は異なります。	設定した風向	暖房運転開始時や霜取り運転中などは、冷たい風が体に直接当たるのを防止するために上吹きになり、微風運転になります。 水平吹き 吹出す風が暖かくなると、設定した風向になります。 設定した風向
(スイング)	上下風向をスイングさせたいとき	冷房・除湿時、(1) ～ (4) の風向の間を風を直接からだに当て過ぎないように間欠的にスイングします。(1) と (4) の風向でしばらくフラップが止まります。	暖房時、(2) ～ (4) の風向の間を風を直接からだに当て過ぎないように間欠的にスイングします。(2) と (4) の風向でしばらくフラップが止まります。

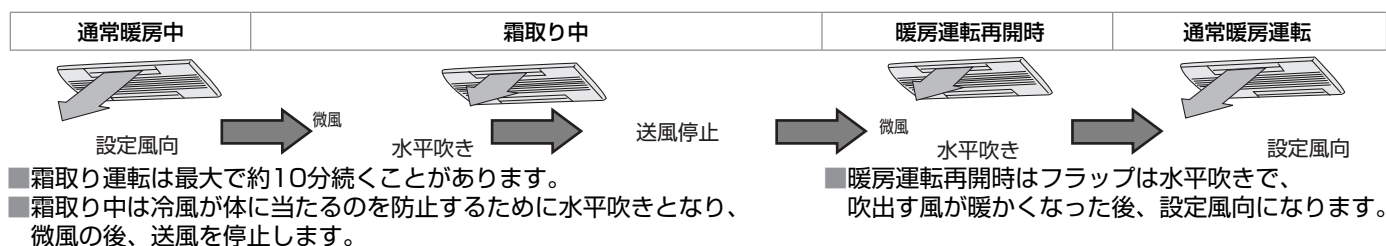
風速、上下・左右風向の調節

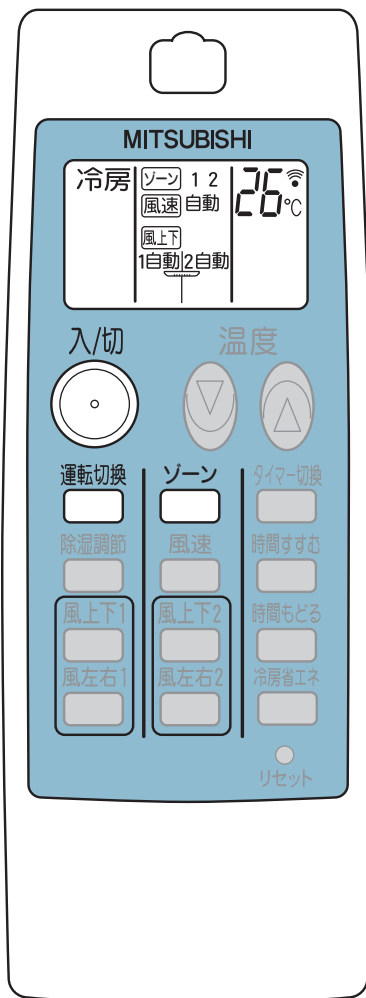
暖房霜取り時の風向と風速の動き

室外温度の低い日に暖房を使用すると、暖房の性能を維持するために、室外機の熱交換器についた霜を取る運転を行います。

通常暖房中	霜取り中	暖房運転再開時	通常暖房運転

■霜取り運転は最大で約10分続くことがあります。
■霜取り中は冷風が体に当たるのを防止するために水平吹きとなり、微風の後、送風を停止します。

■暖房運転再開時はフラップは水平吹きで、吹出す風が暖かくなった後、設定風向になります。

お好みのゾーンを主に空調したい

主に空調する側（ゾーン）を指定できる運転です。一方の吹出しのみでの運転はできません。

ゾーン運転のしかた

1 開始 入/切 を押す。

2 設定 運転切換 を押して、運転の内容を選ぶ。

1回押すごとに冷房→除湿→暖房の順に運転内容が変わります。

お好みに合わせて風速・風向を調節してください。（10ページ）

3 調節 ゾーン を押す。

1回押すごとにゾーン1→ゾーン2→ゾーン1.2の順に運転内容が変わります。

4 解除 ゾーン を押してゾーン1.2にする。

室内機のゾーンランプについて

室内機に付いているゾーンランプが、ゾーン1側とゾーン2側のどちら側を主に空調しているかを表示します。

◀：点灯 ◁：消灯

ゾーン1	ゾーン2	状　態
◀	▶	ゾーン運転を解除し、ゾーン1側とゾーン2側を同じように空調しています。
◀	▷	主にゾーン1側を空調しています。（ゾーン1が指定側）
◁	▶	主にゾーン2側を空調しています。（ゾーン2が指定側）

ゾーン運転中の風速について

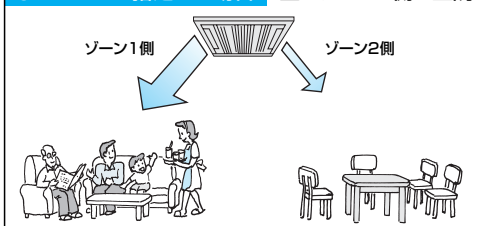
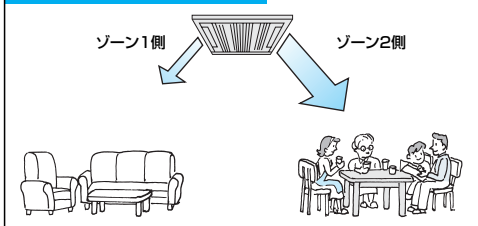
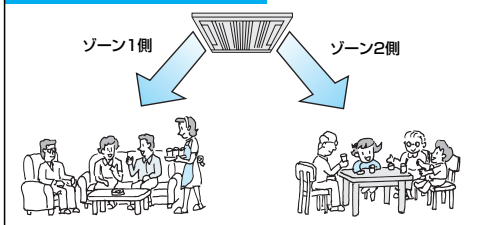
ゾーン運転中の風速は下表のようになります。

指定側	反対側
風速「自動」「静」「弱」「強」を設定できます。	風速「静」で固定となります。

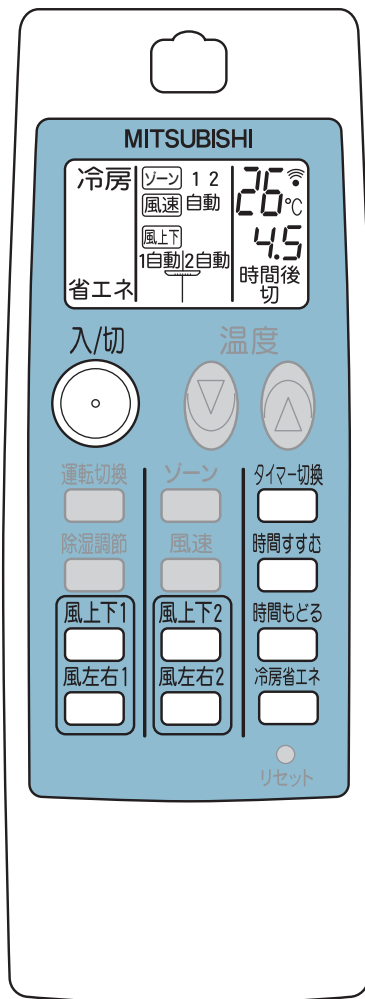
ゾーン運転中の上下風向、左右風向について

ゾーン運転中の上下風向、左右風向は、指定したゾーンにかかわらず、それぞれ設定することができます。
設定のしかたは10、11ページを確認してください。

ゾーン運転中の冷房省エネについて

ゾーン運転中に冷房省エネを設定した場合は、指定したゾーンにかかわらず、冷房省エネ運転になります。
設定のしかたは、13ページを確認してください。

冷房の省エネ運転・タイマー運転

冷房省エネ運転はより健康的な冷房を行います。
タイマーはおやすみ前や起きるときに合わせて、時間をセットすると便利です。

MITSUBISHI
冷房 ゾーン 1 2 26℃ 風速 自動 風上下 1自動 2自動 4.5 時間後 切 省エネ
入/切 温度 運転切換 ゾーン タイマー切換 除湿調節 風速 時間すすむ 風上下1 風上下2 時間もどる 風左右1 風左右2 冷房省エネ リセット

冷房の省エネ運転のしかた

冷房をしているときにお使いください。

1 開始 冷房省エネ を押す。

設定温度は自動的に2℃上がり、風向は自動の表示になります。
上下風向フラップは間欠的にスイングします。
左右風向フラップもスイングします。

2 解除 冷房省エネ を押す。

■冷房省エネ運転中はエアコンが自動的に風向きをコントロールしているので 風上下1 、風上下2 、風左右1 、風左右2 で風向きを変えることができません。

風上下1 、風上下2 、風左右1 、風左右2 を押すと冷房省エネ運転を解除します。

■冷房省エネ運転は時々涼しい風を当てる制御のため、上下風向は水平方向、下向き方向で一定時間止まります。

知っとく情報

冷房省エネ運転はこんなしくみ

風が上下に変化すると、いつもより涼しく感じます。だから設定温度を自動的に約2℃上げても快適さはそのままで健康的な冷房運転を行います。

タイマー運転のしかた

冷房・除湿・暖房をしているときにお使いください。

切タイマー

予約時間になると、運転を停止します。
例えば、おやすみ前に。

入タイマー

予約時間になると、運転を開始します。
例えば、帰宅するとき、起きるときに。

■タイマーの設定は運転中に行ってください。
■切タイマー・入タイマーは同時に設定できません。

1 開始 運転中に タイマー切換 を押して、切・入タイマーにセットする。

1回押すごとに切タイマー→入タイマー→解除の順で変わります。

タイマー設定時、室内機が"ピッ"と鳴ることを確認してください。

2 設定 時間すすむ 時間もどる を押して、タイマー時間を合わせる。

セットできる時間は0.5時間単位で12時間までです。
室内機が"ピッ"と鳴ることを確認してください。
設定はこれで終了です。

3 解除 タイマー切換 を押して、タイマーを解除する。

お知らせ

■タイマー予約中及び、予約後に 入/切 を押すと、タイマー予約が取消され、すべての運転が止まります。
■「入タイマー運転」設定時は室内機の運転モニターランプが点灯して、エアコンが停止状態となり、予約時間になると運転を開始します。

リモコンが使えないとき

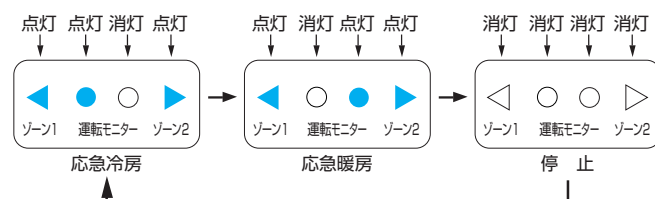
応急運転

リモコンの乾電池が消耗したり、リモコンが故障したときには、室内機の応急運転スイッチを使って応急運転ができます。
応急運転を行う前に、いったんブレーカーを切り、約15秒後にブレーカーを再度入れてください。

応急運転するとき

応急運転スイッチを押す。

1回押すごとに応急冷房 → 応急暖房 → 停止の順に変わります。

室内機の運転モニターランプを用いて運転内容を表示します。

停止するときは
応急運転スイッチを押して「停止」にする。

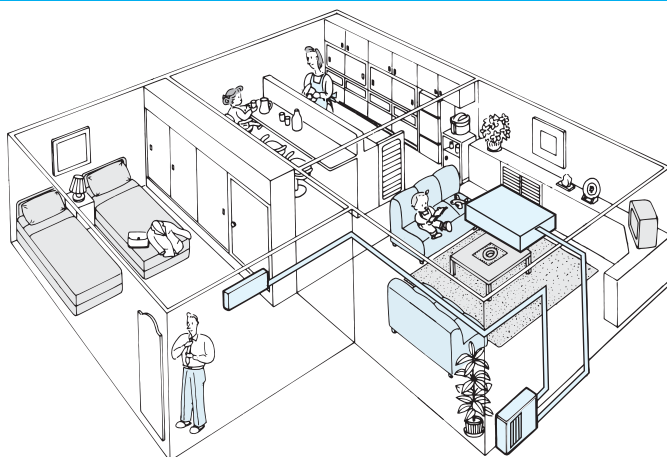
ゾーン運転の選択はできません。(ゾーン1側、2側を同じように空調します)
運転内容は下のようになります。ただし、最初の約30分間は温度調節がはたらかず連続運転になり、風速は（強）になります。

運転内容	冷　房	暖　房
設定温度	24℃	24℃
風　速	（弱）	（弱）
上下風向フラップ	自　動	自　動

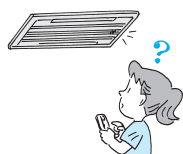
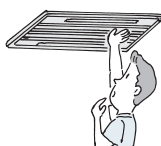
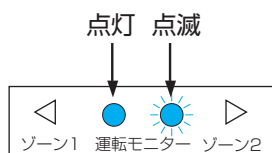
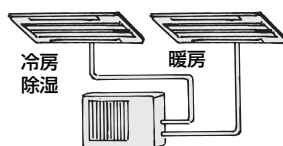
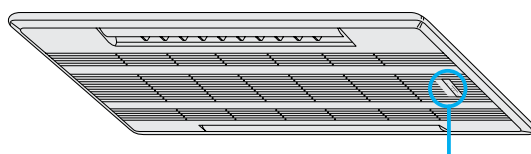
マルチエアコンとは

インバーターマルチエアコンは、複数台の室内機を1台の室外機に接続して運転できるエアコンです。組み合わせた室内機は、すべて同時運転可能です。ただし、1台の室内機で冷房・除湿運転、他の室内機で暖房運転という使い方はできません。

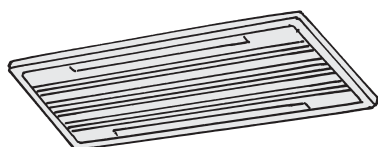
同時運転について

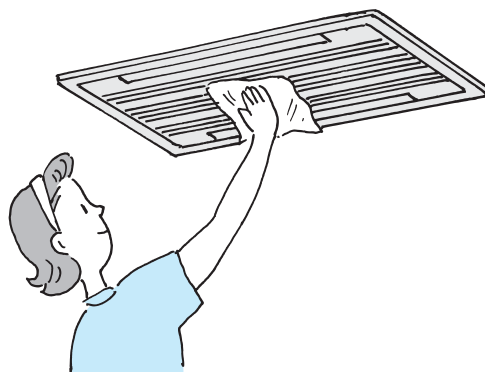
- 室内機を同時に運転するときは、室外機の能力範囲内で運転するため、室内機1台あたりの能力は1台運転するときよりも低下する場合があります。
- お部屋があまり冷えない、または暖まらないときは、室外機の能力範囲内で運転を行ってください。
- 同時運転するときの能力については、室外機に同梱している「三菱ハウジングエアコンマルチ仕様表」を参照してください。

ご使用上の注意（マルチエアコン接続時）

気をつけましょう。	どうして
1台の室内機で冷房運転、他の室内機で暖房運転という使い方はできません。	■最初に運転した室内機の運転が優先されるため、あとから運転を始めようとした室内機は運転を始めません。
冷房・除湿運転終了後に、他の室内機で暖房運転する場合は、冷房・除湿運転をしていた室内機を設定温度16℃の暖房にして30分程運転を行ってください。	■冷房・除湿運転していた室内機に露がつく可能性があります。

故障かな？と思ったら（マルチエアコン接続時）

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
暖房したときにすぐ風が吹出ない。	■十分に暖かな風をお届けするため準備中ですのでそのままお待ちください。 ■霜取運転中に新たに室内機の運転を開始しますと霜取運転中は待機し、霜取運転終了後に暖房運転を開始しますのでそのままお待ちください。
停止中の室内機からモーター音と水をかきまぜるような音がする。	■室内機内部にたまった除湿水を室外に排出するためです。自動的に停止しますので、そのままお待ちください。
停止中の室内機が暖かい。停止中の室内機から水の流れるような音がする。	■停止中の室内機にも少しですが、冷媒を流しているためです。

こんな表示が出たら（マルチエアコン接続時）

こんなときは	各室内機の運転内容を確認してください	お答えします
	冷房・除湿運転と暖房運転とがある場合	■他の室内機と運転内容を合わせた後、いったん室内機を停止させてから再度運転を行ってください。

マルチエアコンとは

カテキンエアフィルターの掃除と吸込グリルの開け・閉めのしかた

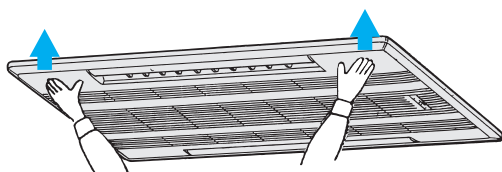
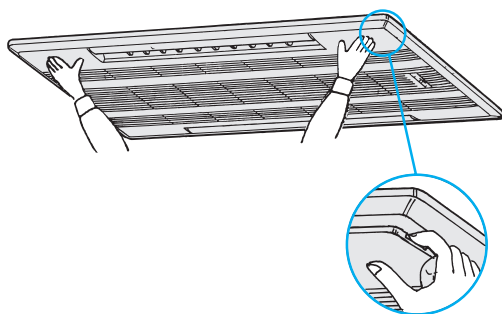
お手入れの前に

運転を停止し、ブレーカーを切る。

室内機・リモコンの掃除

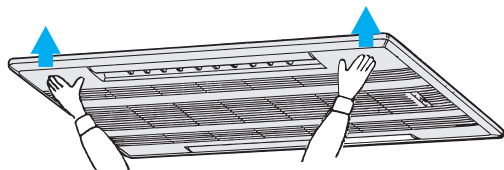
やわらかい布でからぶき。

ガソリン・ベンジン・シンナー・磨き粉は製品をいためるので、使わない。

吸込グリルの開け・閉めのしかた

吸込グリルの開けかた

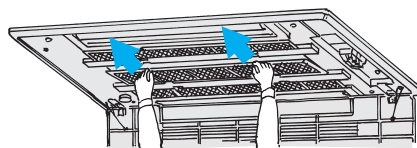
1 吸込グリルの PUSH 部分を押す。

2 カチッと音がしたら、吸込グリルの両端のつまみに指をそえて下に引く。

吸込グリルの閉めかた

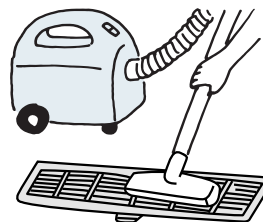
1 吸込グリルを閉めてください。磁石により仮固定されます。

2 吸込グリルの PUSH 部分をカチッと音がするまで押す。

■**しっかり閉まっていることを確認してください。閉まらない場合は、再度吸込グリルを開けてやり直してください。**
■吸込グリルから落下防止用ヒモが出ていないことを確認してください。

カテキンエアフィルターの掃除（2週間に1度が目安）

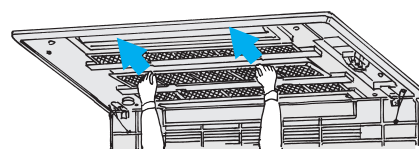
1 カテキンエアフィルターを取外す。

■カテキンエアフィルターの取手をつまみ、下に引いてから手前に引出してください。

2 取外したカテキンエアフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗うと、変形することがあります。

3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

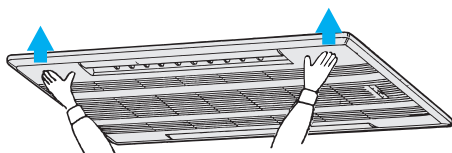
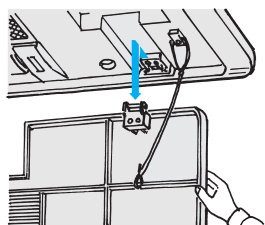
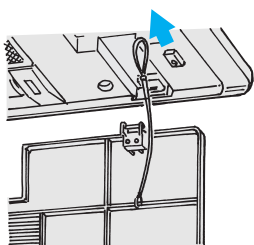
■カテキンエアフィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。

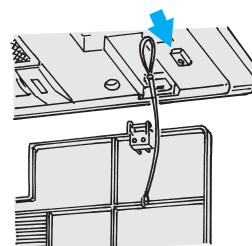
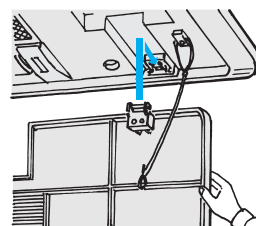
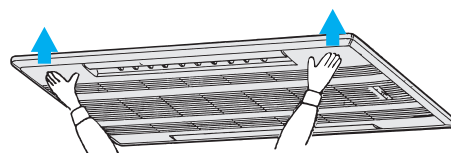
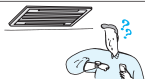
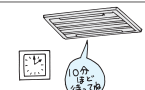
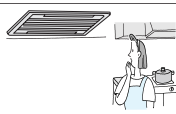
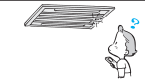
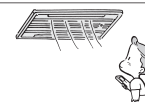
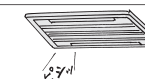
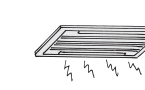
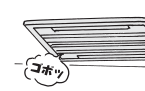
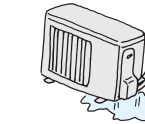
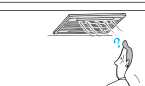
4 カテキンエアフィルターを取付ける。

■カテキンエアフィルターの取手をつまみ、取外したときと逆の手順で取付けてください。

吸込グリルの掃除・取外し・取付けかた

吸込グリルの掃除・取外し・取付けかた

吸込グリルの取外しかた

1 吸込グリルの PUSH 部分を押して、カチッと音がしたら吸込グリルの両端のつまみに指をそえて下に引く。
（詳しくは17ページ）

2 吸込グリル取付部を手前に強く引く。

3 吸込グリルの落下防止用ヒモを取外す。

吸込グリルの取付けかた

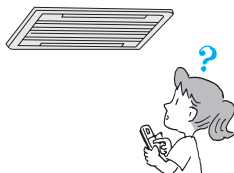
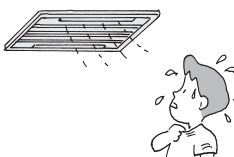
1 吸込グリルの落下防止用ヒモを取付ける。

2 吸込グリルの取付部を取付ける。

3 吸込グリルの PUSH 部分をカチッと音がするまで押す。
（詳しくは17ページ）
吸込グリルから落下防止用ヒモが出ていないことを確認する。

取外して吸込グリルを水洗いする

■やわらかい布で軽くふくように洗ってください。水洗いのあとは、やわらかい布で水分をふきとって陰干ししてください。
■台所用洗剤（中性洗剤）を使うときは、洗剤が残らないよう、よく水洗いしてください。
■たわしやスポンジの硬い面などで洗うと傷がつくので使わないでください。
■長時間（約2時間以上）温水や水につけておかないでください。直射日光やストーブなどで乾燥させないでください。
変形や変色の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。こんなときは故障ではありません。

	故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
止まる	再運転にしても、3分間ほど動かない。	■3分たてば、運転します。エアコンの保護のため、止まっています。そのままお待ちください。
止まる	暖房運転中、10分ほど運転が止まる。	■室外機についた霜をとかしています。（霜取運転）長くて10分で終了しますのでそのままお待ちください。（外気温度が低く、湿度が高いときに霜がつきます）
冷えない	よく冷えない。	■換気扇やガスコンロを使用する部屋では、冷房負荷が大きくなり、冷えが悪い場合があります。 ■外気温が高いとき、冷えが悪い場合があります。
風	暖房運転にしたとき、すぐに風が吹出さない。	■十分に暖かな風をお届けするため準備中です。そのままお待ちください。
風	風向が途中で変わる。	■暖房運転時の吹出し空気温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
風	リモコンで風向が変えられない。	■暖房運転開始時、暖房運転時の吹出し空気温度が低いとき、または霜取運転中という理由で水平吹出しになっているときは、リモコンで風向は変えられません。
風	エアコンからの風がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだニオイを吸込んで、風を吹出すためです。エアコンの掃除をおすすめします。
音	“ピシッ”という音がする。	■温度変化でパネルなどが膨張・収縮してこすれる音です。
音	除湿運転・冷房運転中、室内機からモーター音と水をかきまぜるような音がする。	■除湿運転・冷房運転では室内機内部にたまった除湿水を室外へ排水するためのモーター音、排水音がします。
音	水の流れるような音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音です。
音	ときどき“ブシュ”という音がする。	■エアコン内部の冷媒の流れが切換わるときの音です。
音	冷房・除湿運転停止時、室内機から“ゴボッ”という音がする。	■ドレン配管からドレン水がもどるためです。
変色	室内熱交換器隅のアルミフィンが変色して焦げたようになっている	■室内熱交換器製造時点で変色したものです。（溶接の熱でアルミフィン表面の樹脂コーティングが変色します）エアコンの運転によるものではありません。また、熱交換器の性能にも影響はありません。
その他	室外機から水または水蒸気が出る。	■冷房時に、冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ■暖房時に、霜取運転でとけた水または水蒸気が出るためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。 故障ではありませんが、濡れてお困りの場合は、お買上げの販売店へ排水工事のご相談をお願いします。なお一部寒冷地では室外機氷結のおそれがあり、工事ができない場合があります。
その他	室内機の吹出口から霧が出る。	■部屋の空気中の水分が、エアコンから吹出した冷たい風で急速に冷やされ霧状になるためです。

もう一度お確かめください

こんなとき	お確かめください。
動かない。	■ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。 ■入タイマーの設定になっていませんか。（13ページ） ■リモコンの室内機切換スイッチは正しく設定されていますか。（6ページ）
よく冷えない、暖まらない。	■温度の調節が適切になっていますか。（8ページ） ■室外機の能力以上で室内機を複数台同時に運転していませんか。（14ページ） ■カテキンエアフィルターが汚れていませんか。（17ページ） ■室内外機の吹出口・吸込口をふさいでいませんか。
リモコンの表示がでない、表示がうすい。リモコン信号を受信しない。	■乾電池が消耗していませんか。（7ページ） ■乾電池の取付けが（＋）（－）逆になっていませんか。（6ページ） ■市販のリモコン収納ボックスにテレビやビデオのリモコンを重ねて収納されるとボタンが押されたままになり、エアコンのリモコン信号を受信しないことがあります。ボタンが押されたままにならないように収納してください。 ■室内機切換を設定していませんか。（6ページ）

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、「お買上げの販売店」（23ページ）にご相談ください。

運転モニターランプが点滅するときは、運転を停止し、「お買上げの販売店」にご相談ください。
以下のような場合には、運転を停止し、「お買上げの販売店」にご相談ください。

■室内機から水が漏れるとき。
■電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）がある部屋では、リモコンからの信号を受けつけない場合があります。
■電波の弱い地域では、テレビ・ラジオなどにノイズが入る場合があります。その場合は増幅器などの取付けをおすすめします。

お願い

■雷が鳴り出したら、早めに運転を止め、ブレーカーを「切」にしてください。電気部品が損傷することがあります。

知っておいていただきたいこと

運転について

■右の温度環境以外で運転すると、保護装置がはたらき運転ができない場合があります。
■室内側の湿度が80%以上で長時間冷房・除湿運転すると、室内吹出口などに露が付き、滴下する場合があります。
■停電でエアコンが停止すると、停電が回復してもエアコンは停止したままです。リモコンの入/切を押して、再度運転してください。

冷房運転	外気温度　約21～43℃
除湿運転	外気温度　約21～43℃
暖房運転	外気温度　約24℃以下

設置・点検・移設

「安全のために必ず守ること」（2，3ページ）をご確認ください。

据付場所について

以下の場所への据付けはさけてください。

■可燃性ガスの漏れるおそれのある所
■高周波機器、無線機器などがある所
■機械油が多い所
■海浜地区など塩分が多い所
■温泉地などや硫化ガスが発生する所
■油の飛まつや油煙のたちこめる所
■積雪により室外機がふさがれる所
■クレーン車、船舶など移動するものへの設置
※室内機からの排水は、水はけのよい所にしてください。

電気工事についての注意

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
■ブレーカー容量は必ず守ってください。
100V用機種はAC100Vで、200V用機種はAC200Vで使用してください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたってはエアコンの重量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
■室外機の吹出口からの温風や、運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
■室外機の吹出口近くには物を置かないでください。機能低下や運転音増大のもとになります。
■使用中、異常音がする場合は、「お買上げの販売店」にご相談ください。

移設は専門業者へ依頼

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり、再据付けする場合は、専門の技術や工事が必要になります。

点検整備のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下することがあります。
また、ゴミやほこりなどにより、においが発生したり、ドレンホースなどの排水経路のつまりにより室内機から水漏れすることがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備及び費用は「お買上げの販売店」にご相談ください。

エアコンの内部洗浄について

■市販のエアコン洗浄剤を使用すると、ドレンホースなどの排水経路のつまりによる水漏れや電気品などの故障の原因になります。
また、ケガや感電などの危険がありますのでエアコン内部洗浄をご希望されるかたは、お近くの「お買上げ販売店」・「修理相談窓口」にお申し付けください。

⚠警告

■エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買上げの販売店にご相談ください。
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認してください。
■エアコンに使用される冷媒そのものは安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因となります。

サービスマンへ確認する

⚠注意

■新築物件やリフォームなどの内装工事、床面のワックスがけ時にはエアコンの運転をさけてください。作業終了後にエアコンを運転する場合は十分に換気を行ってください。ワックスなどの揮発成分がエアコン内部に付着し、水漏れや露飛びの原因になることがあります。

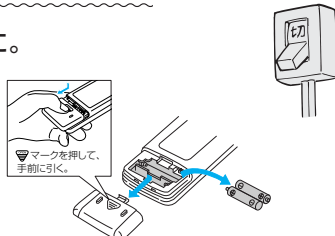
なお、ご不明な点があるときには「お買上げの販売店」にご相談ください。

長期間ご使用にならないとき

●長期間使用しないとき

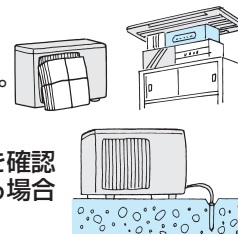
1 3～4時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。
※送風運転するには、設定温度を一番高くして通常運転（冷房）にします。（8ページ）

2 ブレーカーを「切」に。

3 リモコンから乾電池を取出す。

●再度使い始めるとき

1 カテキンエアフィルターを掃除し、室内機に取付ける。
（カテキンエアフィルターの取付けかたは17ページを参照）

2 室内外機の吹出口・吸込口をふさいでいないことを確認する。

3 アース線が外れていないことを確認する。室内機側に取付けてある場合があります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。
【製造年】本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります。

※【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）
※運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件　JIS C 9921-3による

環境条件	電源電圧／周波数	製品の定格電圧による／50Hz・60Hz共通	
	室内温度	冷房　27℃（乾球温度）	暖房　20℃（乾球温度）
	室内湿度	冷房　47％（湿球温度19℃）	暖房　59％（湿球温度15℃）
	室外温度	冷房　35℃（乾球温度）	暖房　7℃（乾球温度）
	室外湿度	冷房　40％（湿球温度24℃）	暖房　87％（湿球温度6℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置	
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）	
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房　6月2日から9月21日までの112日間	暖房　10月28日から4月14日までの169日間
	1日あたりの使用時間	冷房　9時間/日	暖房　7時間/日
	1年間の使用時間	冷房　1008時間/年	暖房　1183時間/年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

フロンの「見える化」表示について

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kg（マルチシステムの場合は10,500kg）に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄などにあたってはフロン類の回収が必要です。

この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコンの取り外し時はフロン類の回収が必要です。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買上げ日から1年間です
（冷媒回路については5年間）

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このハウジングエアコンの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（19ページ）「もう一度お確かめください」（20ページ）「マルチエアコンとは」（14～15ページ）にしたがってお調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- 技術料…故障診断、故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる料金です。
- 部品代…修理した部品代金です。
- 出張料…商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みのハウジングエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール　いつもサンキュー　365日
0120-139-365（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平日 9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日 9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北全域 関東甲信越（長野県飯田地区を除く） 静岡県・九州全域	東日本修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
長野県（飯田地区） 東海（静岡県を除く） 北陸・関西・中国・四国全域	西日本修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K09B

仕様／付属品

特定の化学物質の含有が基準値以下であり、環境に配慮した設計をしています。

冷房・暖房兼用天井カセット形（インバーター）

仕様＼形名		MLZ-W40RAS		MLZ-W50RAS		MLZ-W56RAS	
電源		単相200V		単相200V		単相200V	
冷房能力〈kW〉		4.0		5.0		5.6	
暖房能力〈kW〉		5.6		6.3		6.7	
消費電力〈W〉		冷房1120	暖房1610	冷房1630	暖房1830	冷房2050	暖房1910
運転電流〈A〉		冷房6.00	暖房8.55	冷房8.55	暖房9.50	冷房10.75	暖房9.90
室内側運転音(強)〈dB〉		冷房37	暖房40	冷房38	暖房40	冷房40	暖房44
室外側運転音〈dB〉		冷房48	暖房49	冷房49	暖房50	冷房52	暖房53
冷房面積のめやす〈m²〉	鉄筋アパート南向洋室	28		34		39	
	木造南向和室	18		23		25	
暖房面積のめやす〈m²〉	鉄筋アパート南向洋室	25		29		30	
	木造南向和室	20		23		24	
エネルギー消費効率	冷房・暖房	3.57・3.48		3.07・3.44		2.73・3.51	
	冷暖房平均	3.53		3.26		3.12	
通年エネルギー消費効率		4.1		3.8		3.7	
区分名		I		J		J	
質量〈kg〉		室内機18　室外機36		室内機18　室外機36		室内機18　室外機36	
外形寸法〈mm〉		室内機　高さ194×幅973×奥行480 室外機　高さ550×幅800(+69)×奥行285					
付属品		リモコン(1個)・単4形アルカリ乾電池(2本)					

- 冷房・暖房面積のめやすは、それぞれ室内機1台当たりの数値です。
- この仕様値は、JIS規格(JIS C 9612)にもとづいた数値です。
- この仕様値は、50Hz・60Hz共通です。
- リモコンで「停止」したときの室内機消費電力は約5ワットです。
- 運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
- この仕様値は、それぞれ室外機MULZ-W40RAS/W50RAS/W56RASと接続したときの数値です。
- マルチエアコンと接続したときの仕様値、室外機の仕様については室外機に同梱している仕様表を参照してください。
- J-Moss(JIS C 0950)の規定に基づき、対象となる6物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しております。詳しくはホームページをごらんください。　www.MitsubishiElectric.co.jp/jmoss/

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を!

●エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか

- 焦げ臭いニオイがする。
- ブレーカーが頻繁に落ちる。
- 架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取り付けがゆるんでいる。
- 室内機から水が漏れる。
- 運転音が異常に大きい。
- その他の異常や故障がある。

▶ **ご使用中止**　故障や事故防止のため、スイッチを切り、ブレーカーを切って必ずご販売窓口に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話
お買上げ(据付)日	年　　月　　日

三菱電機株式会社
静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

SG79Y579H12 10/11